

# 管理所レビュー VOL.06

(R 1. 6. 19 水源林管理所)

今年度の第6回となるボランティア活動が、6月7日(金)に実施されました。

前日までは、間伐作業が実施できそうな天気予報でしたが、当日は、午前9時過ぎから雨が降り出したため、杭作りの実施となりました。皆様、大変お疲れ様でした。

梅雨に入り、今後数週間はスッキリしない天気が続きそうです。雨が降らない予報でも、道志村のような山間部では天気が急変する事があります。参加の際は当日の天気予報を確認し、雨具や着替えなどを準備してご参加ください。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

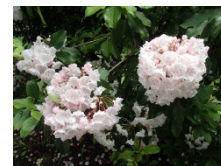
## 1 53名のご参加、ありがとうございました！



雨には勝てません(涙)。



杭作りでも始まりの会をしっかりと。



カルミア



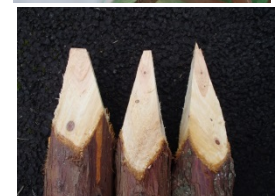
ヤマボウシ

## 2 木製杭について

杭作りは、地味な作業ではありますが、横引き用のノコギリを使用しての縦(斜め)切り作業のため、思うように切れずに大変です。更に、地面に刺さり易くするための角度や先端を完全に尖らせずに1cm四方残す事などの点にも注意が必要です。

また、小径木の運搬も大変ではありますが、2人で1本を持つなどして無理をしない程度に搬出してください。

出来上がった杭は、森林整備に必要な作業道の整備や崩れた法面の修復に欠かすことができない材料ですので、ご協力をお願いします。



真ん中の杭がいいですね。

## 3 ご参加、ありがとうございました！

今回の活動に、環境保全活動に積極的に取り組んでいるメタウォーターサービス株式会社様、株式会社サンコウ様が参加されました。

今回は、雨のため杭作り作業となりましたが、次の機会には、是非、間伐作業を経験していただきたいですね。

ボランティアの会の皆さん、ご指導ありがとうございました。



株式会社サンコウ様。  
(掲載許可済み)



メタウォーターサービス株式会社様。  
(掲載許可済み)

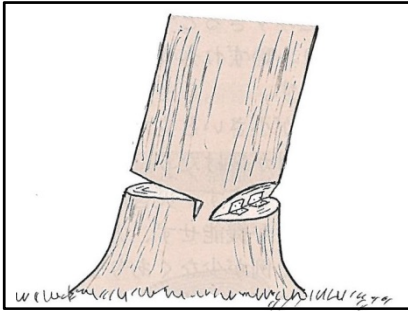
#### 4 切り残し部分（つる）の役割について

「受け口と追い口の間」の切り残し部分」は、木が倒れる時に曲がりながら引きちぎれ、その時の抵抗で倒れる速度を調整し、蝶つがいの働きが伐倒方向を確実にする。重要な部分です。

追い口の切り込みは、「受け口と追い口の間」の切り残し部分」が有効に働くまでの深さとし、切り足りないときは修正の切り直しを行いません。その際には、決して切り込み過ぎないように注意してください。

〔受け口と追い口の間」の切り残し部分の働きは次のように要約されます。〕

- ① 伐倒方向を確実にします。
- ② 伐倒する立木の安定を保ちます。
- ③ 伐倒木の倒れる速度を調整します。



「受け口と追い口の間」の切り残し部分」は蝶つがい。「切り残し部分」の機能が十分に働いた状態。  
(「伐木造材業者必携」より一部抜粋)

※ 立木を目標とする方向に安全に確実に倒すためには、「受け口と追い口の間」の切り残し部分」の働きを理解し、正しく残すことが大切です。

「受け口と追い口の間」の切り残し部分」は切り過ぎると危険になり、逆に切り足りない倒すのが大変です。特に大径木では、安全のために立木の状況に応じた正しい「切り残し部分」を作り、機能が十分に働くようにしてください。

(注)：今までは、「受け口と追い口の間」の切り残し部分」を「つる」と表現していましたが、安衛則の改正により、立木の幹などに絡みつく草などの植物を既に「つる」と呼んでいるので、用語の混同を避けるため、「つる」は「受け口と追い口の間」の切り残し部分」という意味では用いないこととなりました。

(「林業・木材製造業労働災害防止協会 林材安全」より一部抜粋)

#### 5 道志村水源林「間伐体験バスツアー」について

6月15日(土)、「NPO法人道志水源林ボランティアの会」と「横浜市水道局」の共同企画による道志村水源林「間伐体験バスツアー」を実施しました。

当日は、29名の横浜市民の方々が参加され、源流の森の散策や道の駅どうしでの買物、丸太切り体験、道志の湯入浴などの雨天時コースを楽しんでいただきました。

道志水源林ボランティアの会の皆さん、丸太切り体験等のご指導、ありがとうございました。



源流の森散策。



水源林管理所車庫にて。



受け口切りと追い口切り。

※ 6月22日(土)は、曇一時雨、最高気温23度、降水確率50%の予報となっています。

★それでは6月22日、気をつけてお越しください。